

46名が大人の仲間入り
平成26年の成人式を開催

1月12日、中央公民館で平成26年の成人式が開催され、振袖姿やスーツ姿の新成人46名が晴れて大人の仲間入りをしました。式典では松平範慶教育委員長が式辞を述べ、続いて佐藤多一町長、鹿中順一町議会議長、日下大朗道議会議員からそれぞれ祝辞が贈られました。

これに呼んで、新成人代表の菊池健介さんと時田夏乃さんが成人の誓いを読み上げ、大人としての決意を新たにしました。恒例となった北見室内管弦楽団による演奏会や、中学校時代の恩師などからのお祝いメッセージビデオ披露もあり、出席者の心に残る成人式となりました。



新年への思いを筆に込めて
第47回新春書初席書大会開催

1月5日、中央公民館で第47回新春書初席書大会(主催・津別町商工会青年部)が開かれ、小学生と中学生、合わせて39名が腕を競いました。

参加者たちは、学年別に定められた「げんき」「明るいうち」などの課題に取り組み、見本を参考にしながら丁寧に作品を仕上げ、て行きま



会場で行きまき続き審査が行われ、入賞作品は網走信金津別支店、北見信金津別支店、津別郵便局の各ロビー及び中央公民館に展示されました。

防災・防火への決意を新たに
消防出初式が行われる

1月5日、美幌・津別広域事務組合津別消防署と津別消防団の合同出初式が、厳しい寒さの中で行われました。

津別消防署前での開会式の後、役場庁舎前で観閲を実施。消防署員並びに消防団員が、消防車や救急車などの車両を伴い行進しました。

引き続き、町民会館に会場を移して功績章及び永年勤続章の表彰状伝達式が執り行われ、式に臨んだ消防署員・団員たちは、火事や災害から町民を守る、新年の決意を新たにしました。



子どもたちの教育のために
影山勇治さんから町に寄附

12月27日、北見市在住の影山勇治さんから、子どもたちの教育のために役立てていただきたいと、町に10万円のご寄附がありました。

これまで津別町のお世話になったお礼にと、寄附を思い立たれたそうです。

感謝状を贈呈した佐藤町長は「ありがとうございます。趣旨に沿って大切に使用させていただきます」と、お礼を述べました。



みんなで楽しく交流
一人暮らしお年寄りの集い

1月15日、町民会館で一人暮らしお年寄りの集い(主催・津別町社会福祉協議会)が開催され、町内在住の65歳以上の方60人が交流を深めました。



津別駐在所の鈴木所長による講話では、ビデオを使って交通事故の実例を紹介したり、最近の振り込め詐欺の手口などを分かりやすく説明するなど、被害に遭わないよう呼びかけました。

その後は、ボランティアの方々を用意した、寄せ鍋、赤飯、茶碗蒸といった心づくしの昼食をいただきながら歓談に興ずるなど、参加者たちは楽しいひとときを過ごしました。

townics

まちのわだい

自然体験などの幅広い活動が評価される
「アンビバ!つべつ」に文科大臣表彰

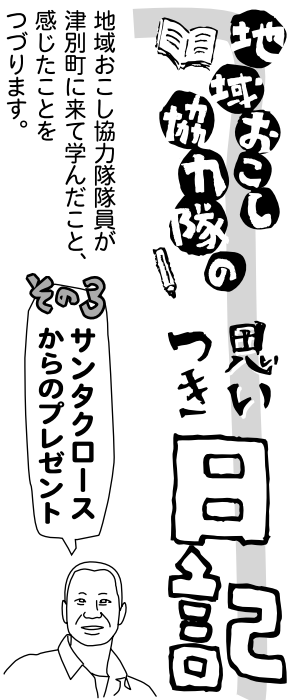
町が平成20年から取り組んでいる社会教育事業「アンビバ!つべつ」が、平成25年度の文部科学大臣表彰を受け、12月5日に文部科学省で行われた授与式に林教育長が出席しました。

同事業は、町内の小学生を対象に季節に応じた自然、文化、スポーツ、農業などの体験プログラムを実施しており、活動を通じて子どもたちの自主性や協調性を育てています。



ツリーイング体験の様子

今回の受賞は、農業体験やいかだ川下り、ツリーイングなど他の団体や事業と連携した幅広い活動内容が評価されたものです。



ハスオーラ

京都にいる妻と息子の大地君との再会を待ち続けながら津別で将来宿を経営する夢を見ている。中国内モンゴル出身。

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

サンタクロースからのプレゼント

時期外れのことですが、子供の時、私はサンタクロースからプレゼントをもらったことにはない。私は12年前に日本にやって来ました。私の故郷では宗教の違いもあり、プレゼントは新年に一度新しい服を着るぐらいでした。私は8年前に初めてサンタクロースからのプレゼントをもらいました。白いブーツに入ったチョコレートでした。その時、サンタクロースもよく知らなかったしチョコレートも、くれた彼女が全部自分で食べちゃった(笑)。

去年の9月に息子が生まれ、妻から息子にはサンタクロースのプレゼントはないの?と問いかけられました。あまりピンと来ないことでしたが、一所懸命に考えました。こんな世界的なイベントが何時から盛んになったらう?なぜ子供たちがサンタクロースを好きなん